

(表紙)

別添
計画名: 香南市災害に備えた安心安全なまちづくりの推進(防災・安全)

都市防災事業計画(第1回変更)

(吉川地区外4地区 都市防災総合推進事業)

高知県香南市

平成29年3月
平成30年1月

(様式1)整備方針等
整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

(市域全域及び事業地区(吉川、赤岡、香我美、夜須、野市)における防災上の現状及び課題)

- 位置・地勢
香南市は、高知県の中東部、一級河川物部川の下流域に位置し、平成18年3月1日に4町1村(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村)の合併により発足した、人口33,884人(平成28年4月1日現在)の市である。市域は東西約20km、南北約15km、面積126.5km²で、東西に広がる肥沃な平野部が太平洋に面する南部地域、低山が連なる中で里山環境が広がる中部地域、四国山地の一部を構成する北部地域に大きく分かれている。
- 現状と課題
沿岸部では、過去の南海地震による家屋や施設の倒壊をはじめ、津波による多大な被害を被っている。また、近い将来必ず発生する次期南海トラフ地震では、「高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測(平成24年12月10日 高知県)」において、最大震度6強の揺れと最大高さ15mになる津波が想定されており、5町(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川町)全てが浸水区域となり、特に赤岡町、吉川町はほぼ全域が津波浸水区域となる。このことから、「高知県版 南海トラフ巨大地震による被害想定概要(平成25年5月15日 高知県)」では、津波による人的被害は死者数2,000人、負傷者160人で、1日後の避難者数が19,000人と非常に厳しい数値となった。また、津波による被害の他にも、住宅が密集している市街地での地震火災、地震に伴う家屋及びブロック塀の倒壊による人的被害並びに津波避難困難状況の発生等が予想される。さらには、地震による揺れはもとより、近年度々発生する集中豪雨に伴う河川の氾濫や土砂災害等により、市街地での浸水被害及び山間部における土砂災害による集落孤立等も懸念される。
- このことから香南市では、命を守る対策として、自助対策である住宅耐震化の促進やコンクリートブロック塀の耐震対策を加速させ、共助の観点から、地域の自主防災組織の新たな発足(平成27年度末組織率89.2%)や被災地視察等による育成強化を行い、地域住民の防災意識及び防災力の向上を進めるとともに、津波から避難する高台がない地区における津波一時避難場所(津波避難タワー、津波避難道)の整備をさらに加速し、一日も早い津波避難困難区域の解消に努め、また整備済の津波避難タワー等を活用した避難訓練等を積極的に行うことが重要であると認識している。その他、緊急時における住民への伝達手段として、従来のケーブルテレビ文字放送、メール配信、市ホームページ等に加えて、平成26年度に整備したデジタル防災行政無線を活用するとともに、地域防災を担う消防団の体制充実並びに強化を図ることが求められる。さらには、助かった命をつなげていく施策として、指定避難所となる学校施設や体育館等の耐震化に取り組むとともに、充実した備蓄品の確保を図るため、防災拠点施設(備蓄倉庫)の整備を早急に行うことが課題である。

【整備方針】

(市域全域及び事業地区(吉川、赤岡、香我美、夜須、野市)における防災上の課題解決のための整備方針)

- 香南市では、平成24年4月に「第一次香南市振興計画後期基本計画」を策定しており、この中で「安心安全で快適なまちづくり」を基本目標とし、その施策として「南海地震対策の充実」に取り組むこととしている。「南海地震対策の充実」においては、津波避難の対策として津波避難施設やデジタル防災行政無線を整備する他、「香南市津波避難計画」の策定や継続した避難訓練の実施、さらには住宅耐震化の促進、自主防災組織の活性化等、ハードに限らずソフト面も併せて促進することとしている。また、「消防・防災体制の充実」では、地域の防災拠点となる消防屯所等の基盤強化、消防団の研修や訓練を強化し、地域の消防力の向上を目指すとともに、土砂災害対策の推進、避難場所や避難道、緊急輸送道路の整備を促進し、防災基盤の強化を図ることとしている。平成26年9月に修正した「香南市地域防災計画」にも、最大クラスの津波に対応する津波避難タワー等の整備を位置づけするとともに、振興計画を基本としたあらゆる防災基盤の強化、充実を図ることとしている。
- 平成24年度には「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」による津波浸水区域の住民を対象に、津波から命を守る対策についてワークショップを行い、平成25年3月に「香南市津波避難計画」及び5町毎の「同地域計画」を策定した。その中では、情報伝達の確認及び防災啓発の重要性を再認識したうえで、津波避難対象区域の設定、避難場所や避難経路の現状と課題を確認し、津波一時避難施設の場所選定を検討している。
- 香南市では、住民の命を守るため、地震・津波対策を最重要かつ最優先課題に掲げ、各施策の取り組みを続けている。津波対策については、津波避難困難区域の解消を図るため、市内で全21基の津波避難タワーを計画しており、そのうち当市が整備する19基のうち12基が平成27年度末時点で整備され、平成28年度は3基の整備を予定している。平成29年度以降においては、残り4基の整備を実施し、高知県が整備する2基の津波避難タワーと合わせて早期の津波避難困難区域の解消を図る。また、吉川地区においてはほぼ全域が津波浸水想定区域であるため、防災学習や防災訓練等を行うことで地域防災力の向上を目的とし、かつ避難所を兼ね備えた防災コミュニティ施設の整備を行う。さらには、市指定津波避難場所への円滑かつ確実な避難行動を確保するため、津波避難道の整備を行う。
- 地震対策としては、住宅耐震化、ブロック塀耐震対策及び家具固定対策を継続して促進していくとともに、住民の防災意識の向上を図るため、継続した防災訓練を行うとともに、自主防災組織や地域の防災リーダーの育成を行い、ハード及びソフト両面での対策により、住民の命を守る取り組みを進めていく。
- 同時に、命をつなぐ対策として、防災拠点施設となる備蓄倉庫の整備に取り組むこととする。備蓄倉庫は津波浸水区域外の安全が確保された場所に整備し、被害想定を見極めたうえでの計画的な備蓄品の確保と、避難所への円滑な配給計画を構築する。
- その他、耐震性貯水槽の整備、救助用を含む防災資機材の充実、整備された津波一時避難施設への誘導サイン及び誘導灯の整備についても、計画的に順次整備を行っていく。

(様式2)計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	香南市	計画期間	平成29年度～平成31年度 平成29年度～平成33年度	
担当部局名	一部(局) 防災対策課 防災交通安全係	担当者	(正) 川崎 大也 (副) 吉村 正秋	連絡先	TEL 0887-57-8501 FAX 0887-56-0576 e-mail bousai@city.kochi-konan.lg.jp	

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		補助率	補助事業費(予定)額	
					開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費
地区公共	地区公共 施設整備	香南市	夜須地区 津波避難道[福島第2] ΣN=1箇所 L=52m W=1.0m	1.5	平成29年度	平成29年度	1／2	7.0 7.0	3.5 3.5
			夜須地区 津波避難道[手結南] ΣN=1箇所 L=36m W=1.5～2.6m	1.4	平成29年度	平成29年度	1／2	5.0 5.0	2.5 2.5
			夜須地区 津波避難道[坪井神社] ΣN=1箇所 L=80m W=1.5m	1.4	平成30年度	平成31年度	1／2	- 14.0	- 7.0
			夜須地区 津波避難道[手結北] ΣN=1箇所 L=30m W=1.0m	2.0	平成31年度	平成32年度	1／2	- 9.0	- 4.5
			夜須地区 津波避難道[坪井] ΣN=1箇所 L=20m W=1.5m	2.5	平成31年度	平成32年度	1／2	- 6.0	- 3.0
			夜須地区 津波避難道[観音山] ΣN=1箇所 L=30m W=1.5m	2.5	平成32年度	平成33年度	1／2	- 9.0	- 4.5
	防災まちづくり 拠点施設	香南市	吉川地区(津波避難タワー) ⑨吉川町浜口西部 N=1基	6.5	平成32年度	平成33年度	2／3	195.0 195.9	130.0 130.6
			赤岡地区(津波避難タワー) ⑬赤岡町南町 N=1基	9.1	平成30年度	平成30年度	2／3	- 12.0	- 8.0
			香我美地区(津波避難タワー) ⑮香我美町岸本10区 N=1基	6.4	平成30年度	平成30年度	2／3	- 9.0	- 6.0
			夜須地区(津波避難タワー) ⑰夜須町第6地区東部 N=1基	3.3	平成30年度	平成32年度	2／3	195.0 219.9	97.0 146.6
			野市地区(津波避難タワー) ⑱野市町下井 N=1基	105	平成31年度	平成33年度	2／3	150.0 268.2	100.0 178.8
			野市地区(津波避難タワー) ⑲野市町横井 N=1基	105	平成30年度	平成31年度	2／3	135.0 199.5	90.0 133.0
			吉川地区 吉川町防災コミュニティ施設 N=1箇所	425	平成29年度	平成30年度	1／2	205.0 266.4	102.5 133.2
			野市地区 野市町防災備蓄倉庫 N=1箇所(346㎡)	2,290	平成29年度	平成29年度	1／2	50.0 94.0	25.0 47.0
			赤岡地区 赤岡町防災備蓄倉庫 N=1箇所(150㎡)	164	平成32年度	平成33年度	1／2	20.0 22.0	10.0 11.0
			合計					962.0 1,336.9	560.5 819.2

注) 補助事業費について百万円単位。
注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
都市防災総合推進事業	香南市	香南地区	デジタル防災行政無線(1,048.5百万円) 親局、可搬式親局装置、遠隔制御設備、中継局、再送信子局、子局	1,048.5 (524.2)	H24	H26	H27.12運用開始	無
社会資本整備総合交付金 C事業(効果促進事業)	香南市	香南地区	防災・復旧活動用資機材整備 (その1)防災・復旧活動用資機材整備 (その2)避難誘導灯整備	80.1 (40.1)	H29	H33	指定避難所における避難者の生活と健康 を守る資機材整備を行う。 津波避難場所への安全確実な避難行動を 確保する誘導灯整備を行う。	無
木造住宅耐震化事業	香南市	香南地区	耐震診断988棟、耐震設計368棟、耐震工事367棟 (平成27年度末時点)	470.2 (235.1)	H16	H30	昭和56年5月以前に建築された住宅耐震 化	無
県営農村地域防災減災事業	高知県	香南地区	津波避難タワー(2基)	500.0 (333.3)	H27	H29		無
緊急防災・減災事業他	香南市	香南地区	避難道(16路線、115.3百万円)	115.4 (8.6)	H24	H28	16路線の避難道を緊急防災・減災事業、都 市防災、県補助金で整備済	無
市役所新庁舎建設事業	香南市	香南地区	地上7階建 延床面積約7,800㎡ 免震構造	4,780.0 (0.0)	H28	H31	H28年度より基本計画を実施	無
橋梁耐震化事業	香南市	香南地区	橋梁耐震化(4橋、H25設計、H26～H28工事)	120.0 (60.0)	H25	H28	避難経路上にある耐震化を要する橋梁を 対象	無
地域集会所耐震化促進事業	香南市	香南地区	地域集会所耐震化(5施設)	11.0 (0.0)	H27	H27	津波浸水区域外で地域防災拠点に位置づ けする地域集会所が対象	無

注) 総事業費について百万円単位。

事業区分		事業主体	事業地区名 整備内容	重点密集 市街地	補助率						
						H29	H30	H31	H32	H33	計
地区公共 施設等整備	地区公共施設	香南市	夜須地区 津波避難道[福島第2] Σ N=1箇所 L=52m W=1.0m	×	1／2	3.5 3.5	- -	- -	- -	- -	3.5 3.5
			夜須地区 津波避難道[手結南] Σ N=1箇所 L=36m W=1.5～2.6m	×	1／2	2.5 2.5	- -	- -	- -	- -	2.5 2.5
			夜須地区 津波避難道[坪井神社] Σ N=1箇所 L=80m W=1.5m	×	1／2	- -	- 1.0	- 6.0	- -	- -	- 7.0
			夜須地区 津波避難道[手結北] Σ N=1箇所 L=30m W=1.0m	×	1／2	- -	- -	- 1.0	- 3.5	- -	- 4.5
			夜須地区 津波避難道[坪井] Σ N=1箇所 L=20m W=1.5m	×	1／2	- -	- -	- 0.5	- 2.5	- -	- 3.0
			夜須地区 津波避難道[観音山] Σ N=1箇所 L=30m W=1.5m	×	1／2	- -	- -	- -	- 1.0	- 3.5	- 4.5
	防災まちづくり 拠点施設		吉川地区(津波避難タワー) ⑨吉川町浜口西部 N=1基	×	2／3	- -	10.0 -	120.0 -	- 8.8	- 121.8	130.0 130.6
			赤岡地区(津波避難タワー) ⑬赤岡町南町 N=1基	×	2／3	- -	- 8.0	- -	- -	- -	- 8.0
			香我美地区(津波避難タワー) ⑮香我美町岸本10区 N=1基	×	2／3	- -	- 6.0	- -	- -	- -	- 6.0
			夜須地区(津波避難タワー) ⑰夜須町第6地区東部 N=1基	×	1／2 1／3 2／3	- - -	7.0 8.8	90.0 132.8	- 5.0	- -	97.0 146.6
			野市地区(津波避難タワー) ⑱野市町下井 N=1基	×	2／3	10.0 -	90.0 -	- 10.0	- 163.8	- 5.0	100.0 178.8
			野市地区(津波避難タワー) ⑲野市町横井 N=1基	×	2／3	90.0 -	- 131.8	- 1.2	- -	- -	90.0 133.0
			吉川地区 吉川町防災コミュニティ施設 N=1箇所	×	1／2	102.5 127.2	- 6.0	- -	- -	- -	102.5 133.2
			野市地区 野市町防災備蓄倉庫 N=1箇所(346㎡)	×	1／2	25.0 47.0	- -	- -	- -	- -	25.0 47.0
			赤岡地区 赤岡町防災備蓄倉庫 N=1箇所(150㎡)	×	1／2	- -	2.5 -	7.5 -	- 2.5	- 8.5	10.0 11.0
			合計						233.5 180.2	109.5 161.6	217.5 151.5

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H29	H30	H31	H32	H33	計
吉川地区	津波避難タワー N=1基 (⑨吉川町浜口西部津波避難タワー)	用地以外	2/3	-	8.0	120.0	-	-	128.0
		用地	2/3	-	2.0	-	-	-	2.0
	吉川町防災コミュニティ施設 N=1箇所	用地以外	1/2	102.5 127.2	- 6.0	- -	- -	- -	102.5 133.2
赤岡地区	津波避難タワー N=1基 (⑬赤岡町南町津波避難タワー)	用地以外	2/3	-	8.0	-	-	-	8.0
	備蓄倉庫 N=1箇所	用地以外	1/2	-	2.5	7.5	-	-	10.0 11.0
香我美地区	津波避難タワー N=1基 (⑮香我美町岸本10区津波避難タワー)	用地以外	2/3	-	6.0	-	-	-	6.0
夜須地区	夜須地区 津波避難道[福島第2] ΣN=1箇所 L=52m W=1.0m	用地以外	1/2	3.5	-	-	-	-	3.5
	夜須地区 津波避難道[手結南] ΣN=1箇所 L=36m W=1.5～2.6m	用地以外	1/2	2.5	-	-	-	-	2.5
	夜須地区 津波避難道[坪井神社] ΣN=1箇所 L=80m W=1.5m	用地以外	1/2	-	1.0	6.0	-	-	7.0
	夜須地区 津波避難道[手結北] ΣN=1箇所 L=30m W=1.0m	用地以外	1/2	-	-	1.0	3.5	-	4.5
	夜須地区 津波避難道[坪井] ΣN=1箇所 L=20m W=1.5m	用地以外	1/2	-	-	0.5	2.5	-	3.0
	夜須地区 津波避難道[観音山] ΣN=1箇所 L=30m W=1.5m	用地以外	1/2	-	-	-	1.0	3.5	4.5
	津波避難タワー N=1基 (⑰夜須町第6地区東部津波避難タワー)	用地以外	2/3	1/2	-	6.0	90.0	-	96.0
		用地	2/3	1/3	-	1.0	-	-	1.0
				-	0.8	-	-	-	0.8
野市地区	津波避難タワー N=1基 (⑱野市町下井津波避難タワー)	用地以外	2/3	8.0	90.0	-	-	-	98.0
		用地	2/3	-	-	8.0	163.8	5.0	176.8
	津波避難タワー N=1基 (⑲野市町横井津波避難タワー)	用地以外	2/3	2.0	-	-	-	-	2.0
		用地	2/3	-	-	2.0	-	-	2.0
	備蓄倉庫 N=1箇所	用地以外	1/2	90.0 25.0 47.0	- -	- -	- -	- -	90.0 25.0 47.0
合計				233.5 180.2	109.5 161.6	217.5 151.5	- 187.1	- 138.8	560.5 819.2

○用地取得面積

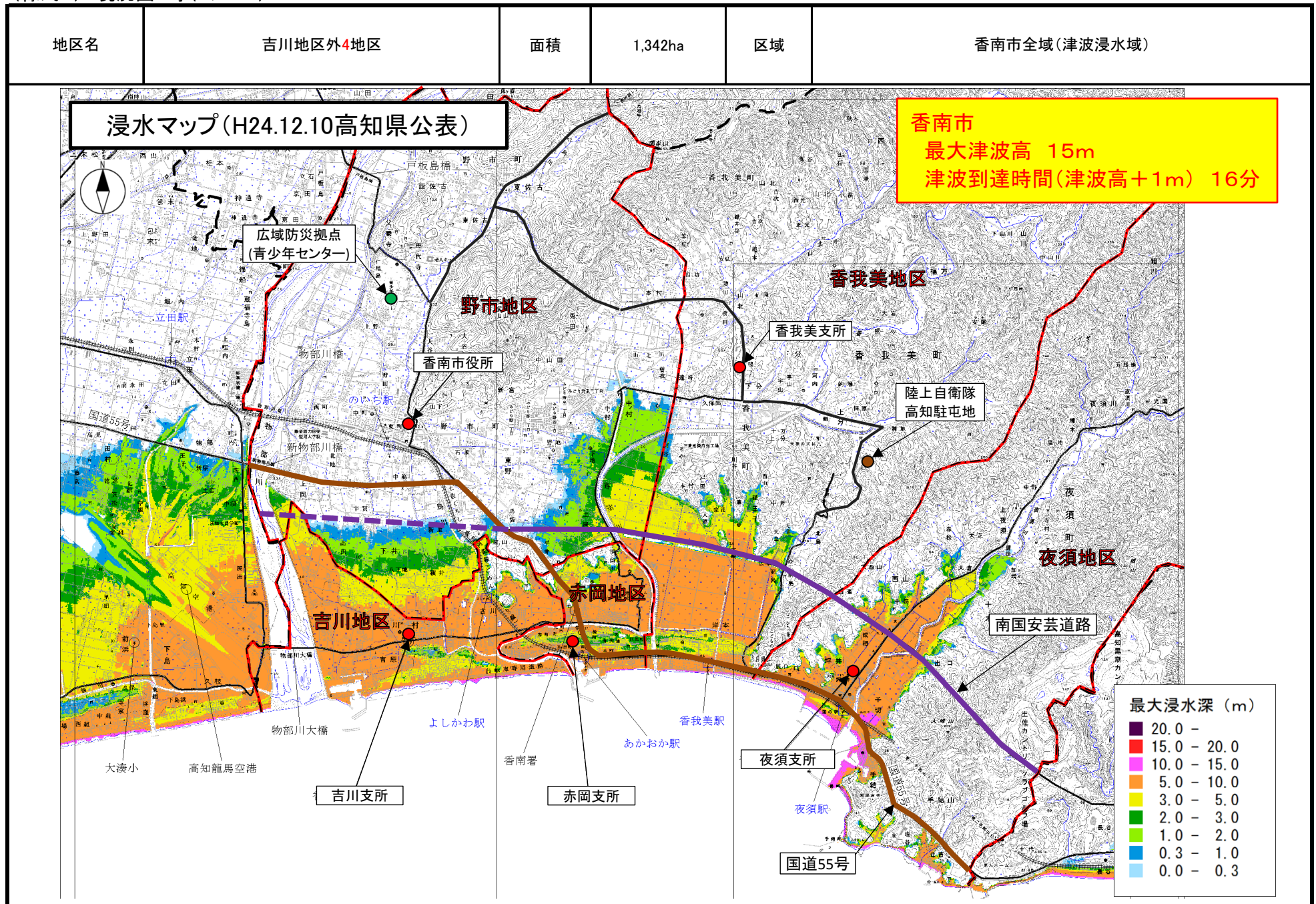
[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【㎡単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H29	H30	H31	H32	H33	計
吉川地区	津波避難タワー N=1基 (⑨吉川町浜口西部津波避難タワー)	用地	2/3		600.0		-		600.0
夜須地区	津波避難タワー N=1基 (⑰夜須町第6地区東部津波避難タワー)	用地	1/3 2/3		600.0				600.0
野市地区	津波避難タワー N=1基 (⑱野市町下井津波避難タワー)	用地	2/3	600.0		-			600.0

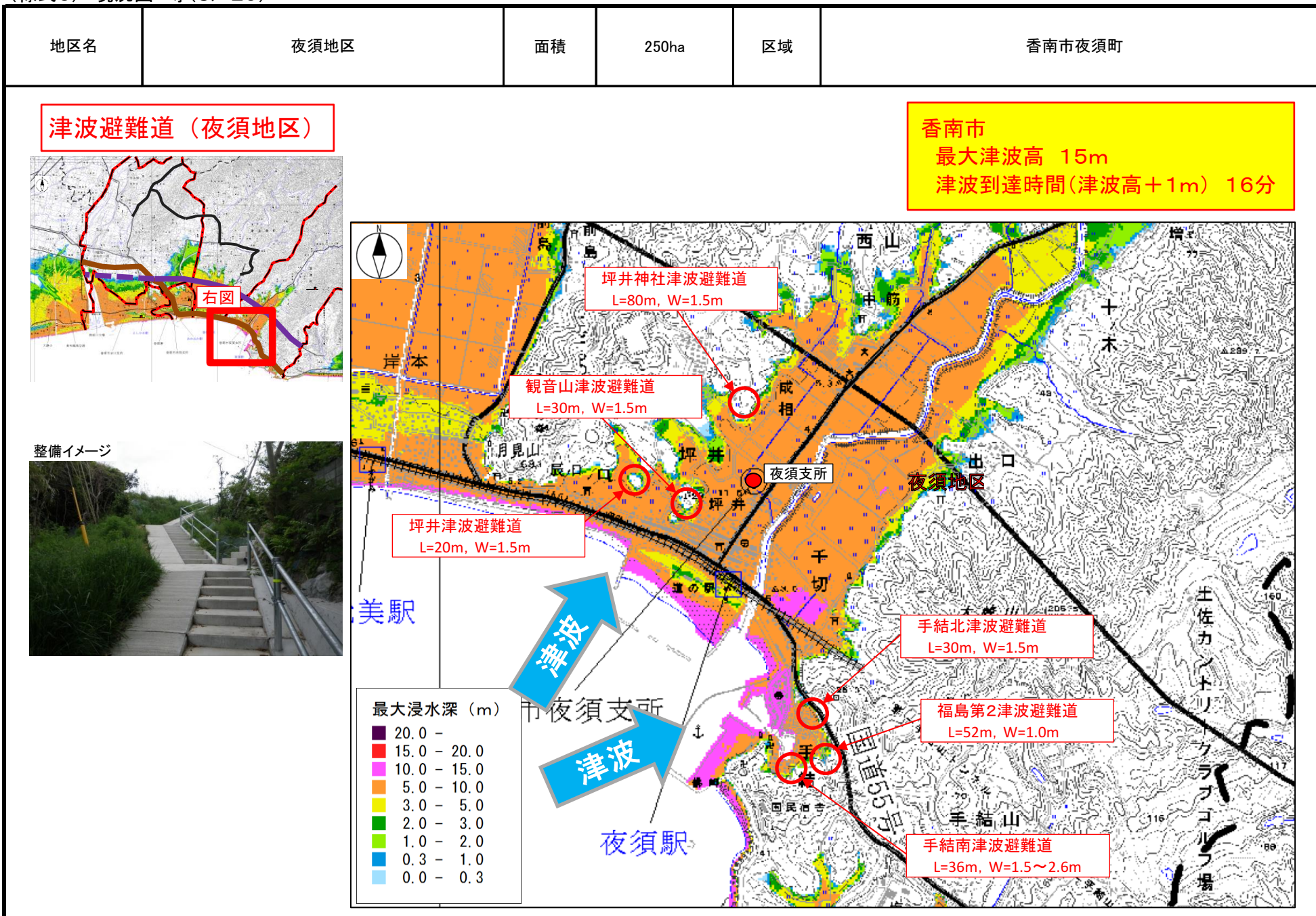
(様式6) 現況図 等(1/20)



(様式6) 現況図 等(2/20)



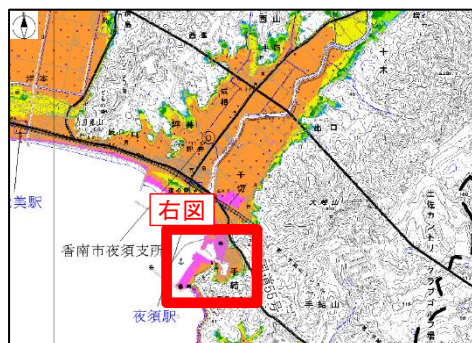
(様式6) 現況図 等(3/20)



(様式6) 現況図 等(4/20)

地区名	夜須地区	面積	1.5ha	区域	香南市夜須町(福島)
-----	------	----	-------	----	------------

福島第2津波避難道(夜須地区)



■福島第2津波避難道(福島高台)

延長 L=52m

幅員 W=1.0m

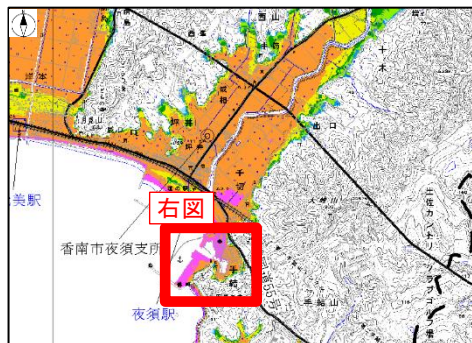
内容 階段工、斜路工、手摺、誘導灯



(様式6) 現況図 等(5/20)

地区名	夜須地区	面積	1.4ha	区域	香南市夜須町(手結南)
-----	------	----	-------	----	-------------

手結南津波避難道（夜須地区）



■手結南津波避難道(野中井戸)

延長 L=36m

幅員 W=1.5~2.6m

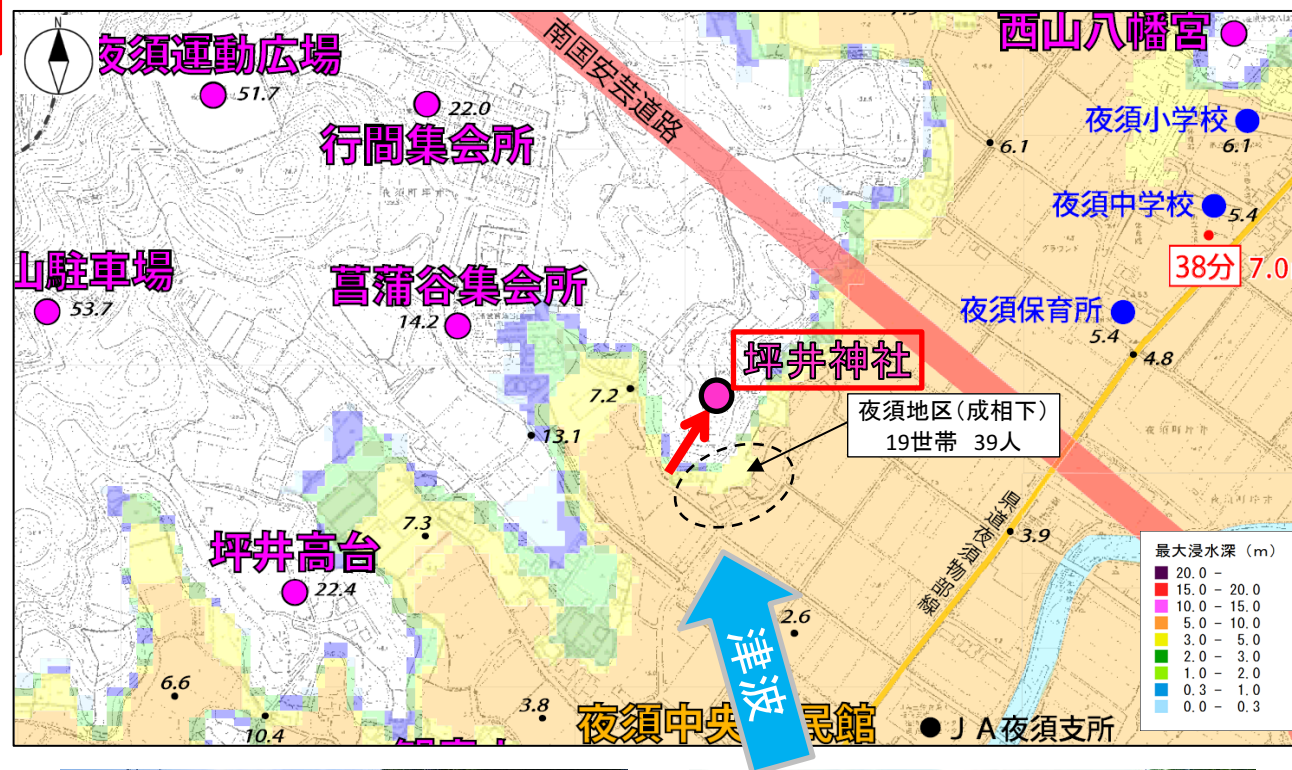
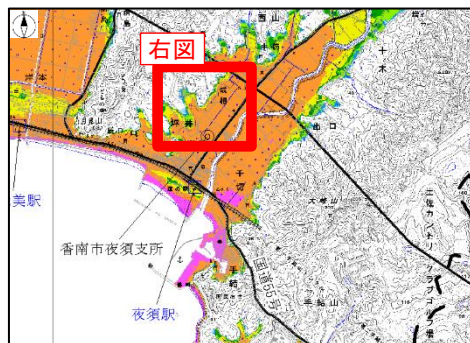
内容 斜路工、手摺



(様式6) 現況図 等(6/20)

地区名	夜須地区	面積	1.4ha	区域	香南市夜須町(成相下)
-----	------	----	-------	----	-------------

坪井神社津波避難道（夜須地区）



■坪井神社津波避難道(坪井神社)

延長 L=80m

幅員 W=1.5m

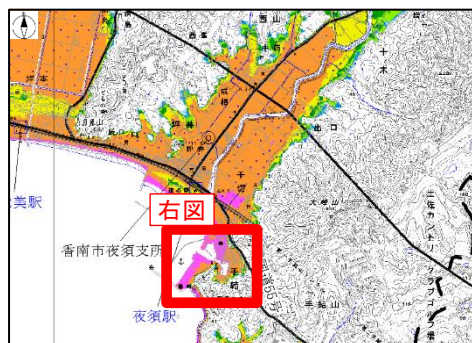
内容 階段工、斜路工、手摺、誘導灯



(様式6) 現況図 等(7/20)

地区名	夜須地区	面積	2.0ha	区域	香南市夜須町(手結北)
-----	------	----	-------	----	-------------

手結北津波避難道 (夜須地区)



■手結北津波避難道(海風荘登口)

延長 L=30m

幅員 W=1.0m

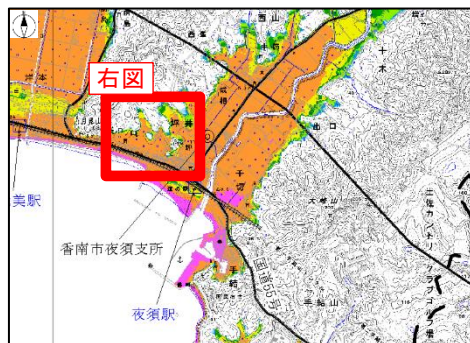
内容 階段工、手摺、誘導灯



(様式6) 現況図 等(8/20)

地区名	夜須地区	面積	2.5ha	区域	香南市夜須町(馬越)
-----	------	----	-------	----	------------

坪井津波避難道 (夜須地区)



■ 坪井津波避難道(馬越高台)

延長 L=20m

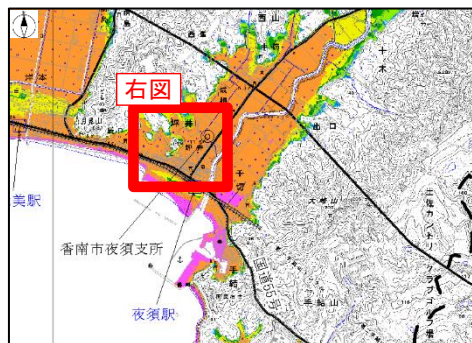
幅員 W=1.5m

内容 階段工、手摺、誘導灯



地区名	夜須地区	面積	2.5ha	区域	香南市夜須町(西町)
-----	------	----	-------	----	------------

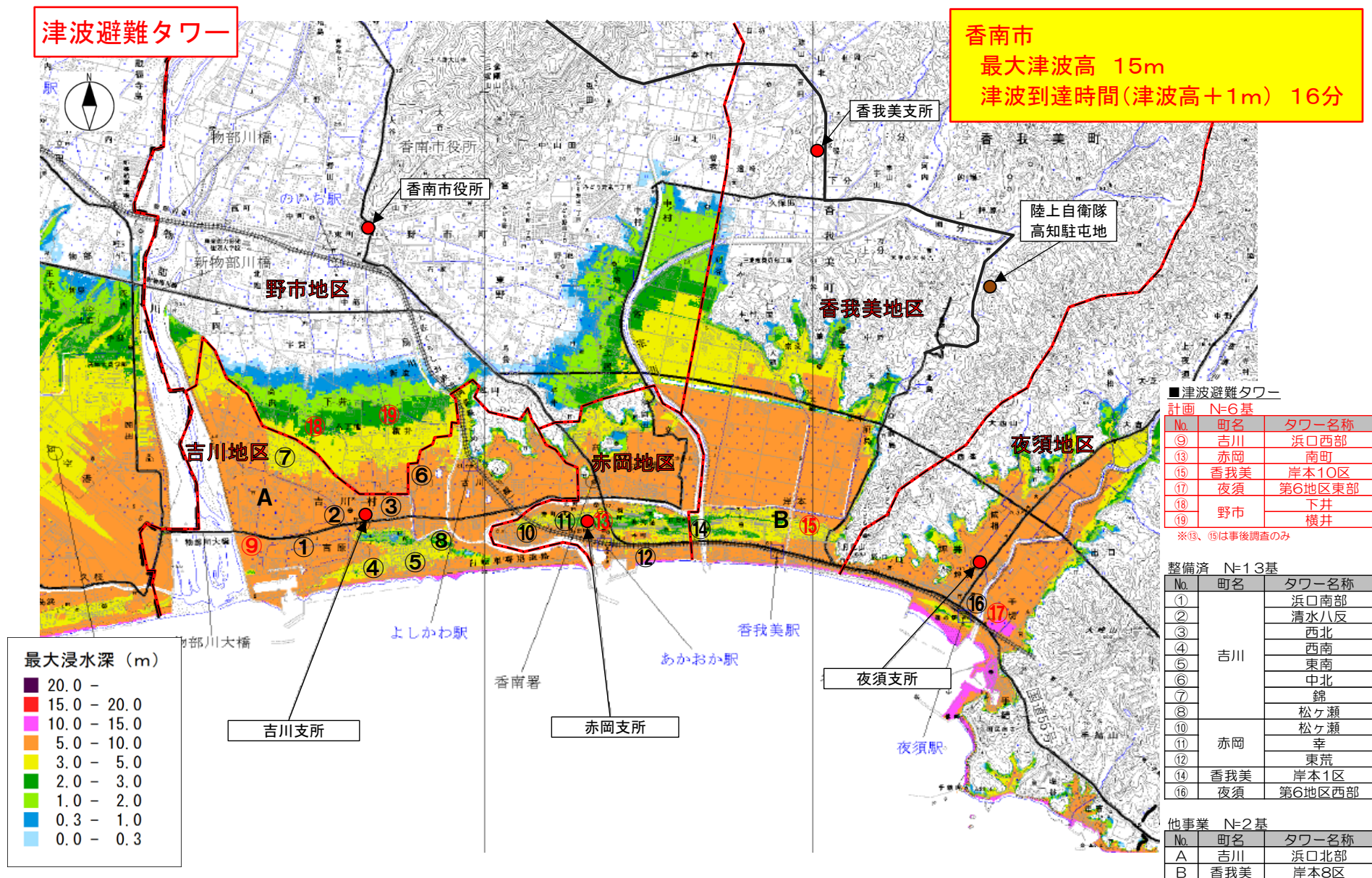
觀音山津波避難道（夜須地区）



- 觀音山津波避難道(觀音山)
延長 L=30m
幅員 W=1.5m(現況0.8m+拡幅0.7m)
内容 階段工、手摺、誘導灯



地区名	吉川地区外4地区	面積	1,342ha	区域	香南市全域(津波浸水域)
-----	----------	----	---------	----	--------------





(様式6) 現況図 等(12/20)



(様式6) 現況図 等(13/20)



(様式6) 現況図 等(14/20)



(様式6) 現況図 等(15/20)

地区名	野市地区	面積	105ha	区域	香南市野市町
-----	------	----	-------	----	--------

津波避難タワー（野市地区）

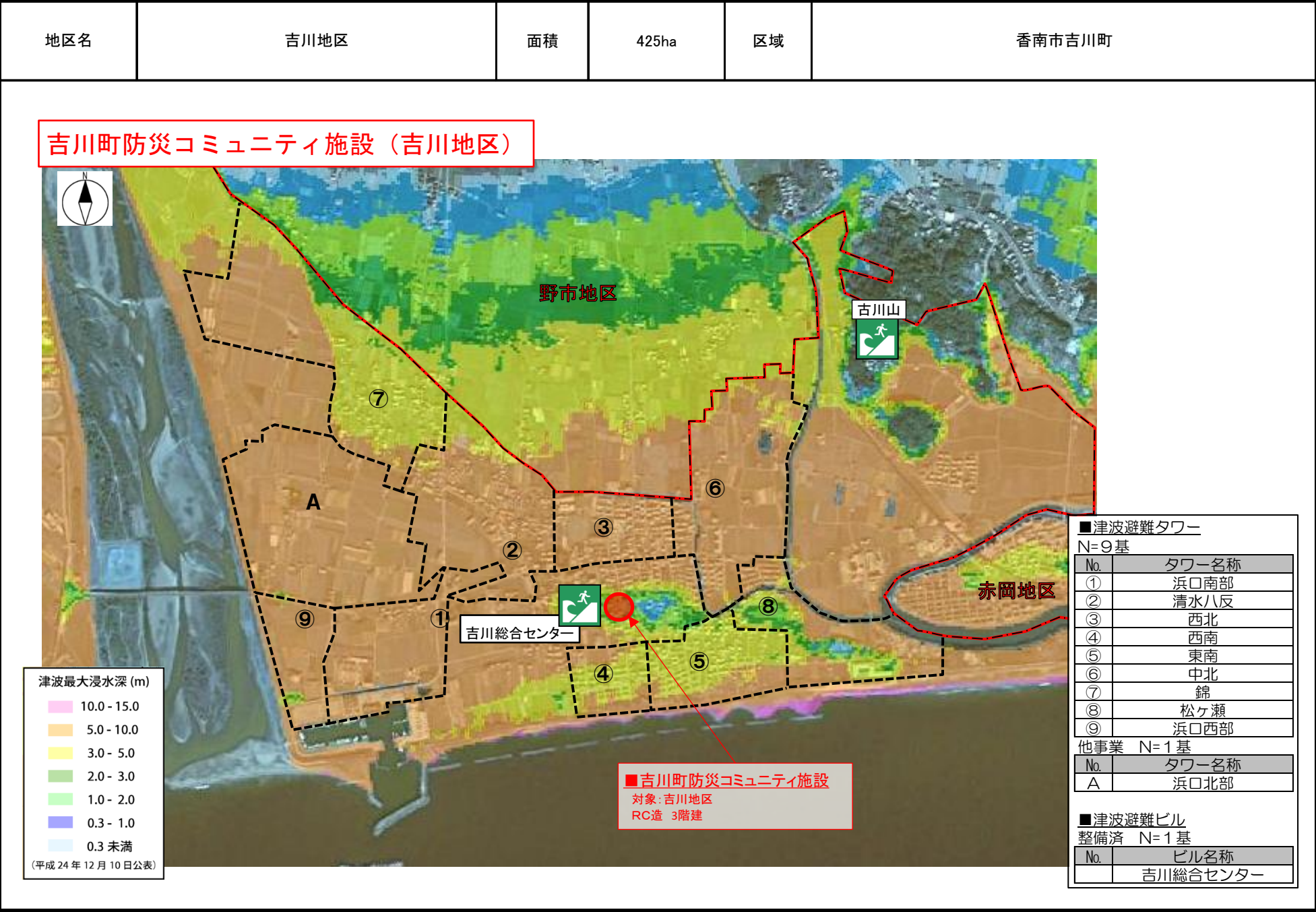


整備イメージ



津波避難タワー		
計画 N=2基		
No.	町名	タワー名称
(18)	野市	下井
(19)		横井

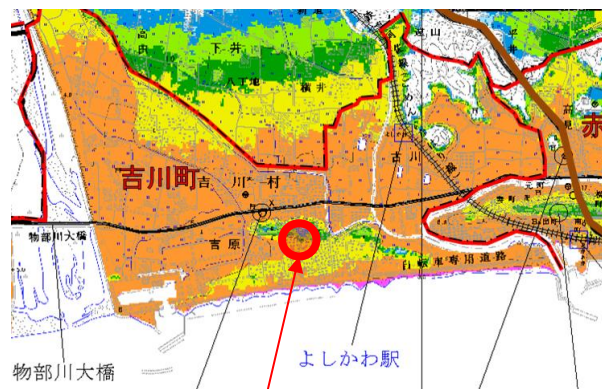
(様式6) 現況図 等(16/20)



(様式6) 現況図 等(17/20)

地区名	吉川地区	面積	425ha	区域	香南市吉川町
-----	------	----	-------	----	--------

吉川町防災コミュニティ施設（吉川地区）



■吉川町防災コミュニティ施設

対象: 吉川地区

RC造 3階建

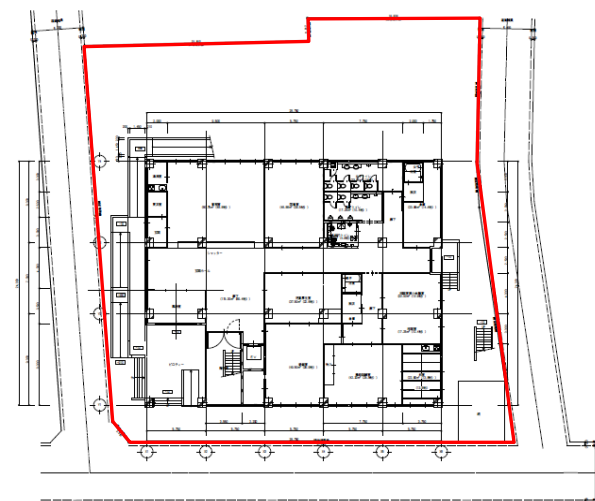
1階 約641㎡(事務室・会議室・倉庫)

2階 約685㎡(多目的室・会議室・倉庫)

3階 約162㎡(備蓄倉庫・防災無線室)

(屋上 津波一時避難場所(収容人数460人/㎡))

整備イメージ



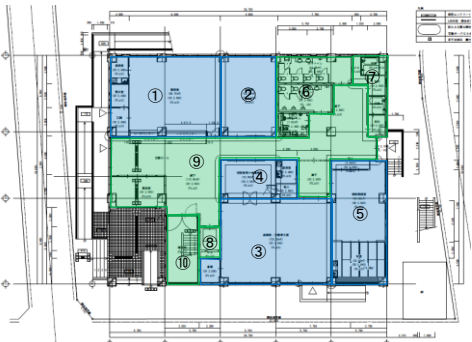
(様式6) 現況図 等(18/20)

地区名	吉川地区	面積	425ha	区域	香南市吉川町
-----	------	----	-------	----	--------

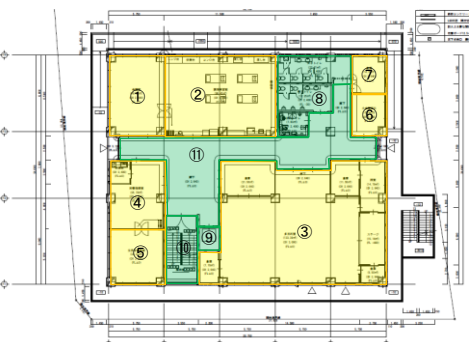
吉川町防災コミュニティ施設（吉川地区）

香南市_吉川地区 吉川町防災コミュニティ施設（アロケ率）

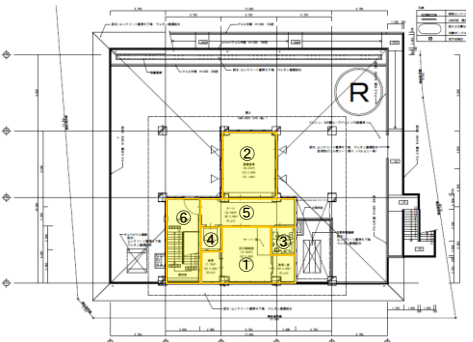
【算定式】		面積（㎡）		計算式
全体床面積＝		1,488.21	（㎡）	ΣA＝（1階）641.49㎡＋（2階）684.97㎡＋（3階）161.75㎡
① 交付対象	（会議室（避難所）・防災無線室・備蓄倉庫など）	641.18	（㎡）	A①＝（2階）479.43㎡＋（3階）161.75㎡
② 交付対象外	（事務室・図書室・児童厚生室など）	364.31	（㎡）	A②＝（1階）364.31㎡
③ 共用部分	（トイレ・エレベーター・廊下など）	482.72	（㎡）	A③＝（1階）277.18㎡＋（2階）205.54㎡
④ 交付対象床面積＝		949.00	（㎡）	A④＝641.18＋482.72×641.18÷（641.18＋364.31）
⑤ アロケ率＝（交付対象床面積）／（全体床面積）	％	64	（％）	（アロケ率）＝949.00／1,488.21≒63.77（％）



1階平面図



2階平面図



3階平面図

交付対象

交付対象外

共用部分

	床面積	※1階部分 A＝641.49㎡	※2階部分 A＝684.97㎡	※3階部分 A＝161.75㎡
① 交付対象	該当なし	ΣA＝479.43㎡ ①会議室 48.87㎡、②調理室 99.45㎡、③多目的室 226.20㎡、 ④研修室A 41.28㎡、⑤研修室B 33.46㎡、 ⑥会議室 15.97㎡、⑦備蓄倉庫14.20㎡	ΣA＝161.75㎡ ①防災無線室 46.70㎡、②備蓄倉庫 40.25㎡、 ③トイレ 7.50㎡、④エレベーター 5.50㎡、 ⑤廊下 29.85㎡、⑥階段 31.95㎡	
② 交付対象外	ΣA＝364.31㎡ ①事務室 97.75㎡、②図書室 50.57㎡、 ③児童厚生室 109.44㎡、④相談室 31.80㎡、 ⑤機能訓練室 74.75㎡	該当なし	該当なし	
③ 共用部分	ΣA＝277.18㎡ ⑥トイレ 48.03㎡、⑦浴室 21.65㎡、 ⑧エレベーター 7.26㎡、⑨廊下 174.68㎡、 ⑩階段 25.56㎡	ΣA＝205.54㎡ ⑧トイレ 47.04㎡、⑨エレベーター 5.50㎡、⑩廊下 127.44㎡、 ⑪階段 25.56㎡	該当なし	

(様式6) 現況図 等(19/20)



(様式6) 現況図 等(20/20)



様式6(参考資料)

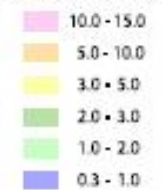
津波避難計画図(吉川町)

吉川地区(高知県香南市吉川町)

津波避難タワー N=10基(都市防災N=9基、他事業N=1基)

うち用地取得箇所 N= 4基(都市防災N=3基、他事業N=1基)

津波最大浸水深(m)



(平成24年12月10日公表)

- 支所及び消防署
- 学校等
- 病院
- 避難者施設
- 地区界

- 避難タワー候補地(香南市指定)
- 避難タワー候補地(高知県指定)
- 避難ビル指定候補
- 避難高台

津波避難タワー(A)
用地取得済

津波避難タワー(No②)
用地取得済

H24.12.10公表 高知県版第2弾
最大津波高 15m
津波到達時間(津波高+1m) 16分

津波避難タワー(No⑧)
用地取得済

津波避難タワー(No⑨)
用地取得箇所

凡 例

- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険渓流・区域
- 津波浸水予想区域(H24.5.10時点)
- 避難タワー候補地点から半径300m円
- 30cm津波到達時間
- 最大津波時の水深

凡 例

- ▲ 津波避難タワー(整備済)
- ▲ 津波避難タワー(都市防災)
- ▲ 津波避難タワー(他事業)
- 公有地
- 半径300m範囲

様式6(参考資料)

津波避難計画図(赤岡町)

香南地区(高知県香南市赤岡町)

津波避難タワー N=4基(都市防災N=4基)

うち用地取得箇所 N=1基(都市防災N=1基)

H24.12.10公表 高知県版第2弾

最大津波高 15m

津波到達時間(津波高+1m) 16分

津波避難タワー(N₀13)
用地取得済

津波最大浸水深(m)

10.0・15.0
5.0・10.0
3.0・5.0
2.0・3.0
1.0・2.0
0.3・1.0
0.0・0.3

(平成24年12月10日公表)

- 避難タワー(整備済)
- 避難タワー(都市防災)
- 避難ビル(整備済)
- 避難ビル(都市防災)
- 避難高台(整備済)
- 避難高台(都市防災)

30cm津波到達時間
最大津波時の浸水深

※避難タワー等整備地は、平成24年度に実施した地盤ワーキングで検討されたものであり、今後変更する場合があります。

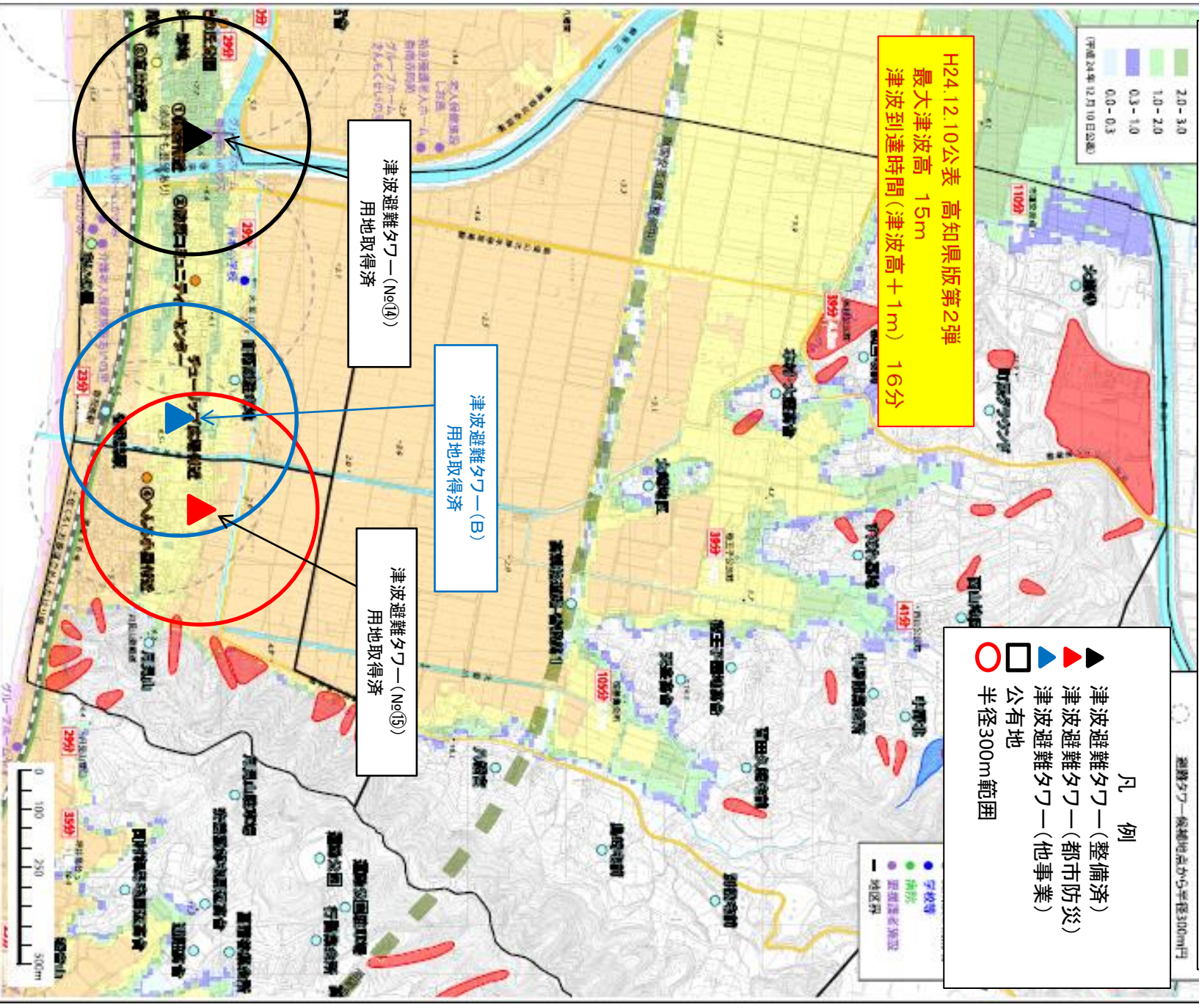
凡 例

- ▲ 津波避難タワー(整備済)
- ▲ 津波避難タワー(都市防災)
- 公有地
- 半径300m範囲

津波避難計画図(香我美町)

香南地区(高知県香南市香我美町)

津波避難タワー N=3基(都市防災N=2基、他事業N=1基)
うち用地取得箇所 N=3基(都市防災N=2基、他事業N=1基)



様式6(参考資料)

津波避難計画図(夜須町)

香南地区(高知県香南市夜須町)

津波避難タワー N=2基(都市防災 N=2基)

うち用地取得箇所 N=1基(都市防災 N=1基)

土石流危険渓谷・区域
津波浸水予想区域(H24.5.10時点)
避難タワー一棟地点から半径300m²
30cm津波到達時間
最大津波時の水深

凡 例
▲ 津波避難タワー(整備済)
▲ 津波避難タワー(都市防災)
□ 公有地
○ 半径300m範囲

H24.12.10公表 高知県版第2弾
最大津波高 15m
津波到達時間(津波高+1m) 16分

津波避難タワー(N6.⑦)
用地取得箇所

津波最大浸水深(m)
10.0-15.0
5.0-10.0
3.0-5.0
2.0-3.0
1.0-2.0
0.3-1.0
0.0-0.3
(平成24年12月10日公表)

● 支所及び消防署
● 学校等
● 病院
● 避難場所施設
— 地区界

● 避難タワー一棟地点(整備済)
● 避難タワー一棟地点(設置箇所)
● 避難タワー一棟地点(設置箇所)
● 避難場所

0 50 100 150 200m

様式6(参考資料)

津波避難計画図(野市町)

野市地区(高知県香南市野市町)

津波避難タワー N=2基(都市防災N=2基)

うち用地取得箇所 N=2基(都市防災N=2基)

H24.12.10公表 高知県版第2弾
最大津波高 15m
津波到達時間(津波高+1m) 16分

津波避難タワー(No.18)
用地取得箇所

津波避難タワー(No.19)
用地取得箇所

凡 例

- ▲ 津波避難タワー(都市防災)
- 公有地
- 半径300m範囲

- 支所及び消防署
- 学校等
- 病院
- 要援護者施設
- 地区界

- 避難タワー候補地(香南市指定)
- 避難タワー候補地(高知県指定)
- 避難ビル指定位置
- 避難高台

津波最大浸水深(m)

- 10.0 - 15.0
- 5.0 - 10.0